

親子で骨とカルシウムについて楽しく学べる デジタル絵本「おわんくんの“骨”ってなあに？」

<http://nestle.jp/wellness/bone/index.html>

12月19日(金)より公開

ネスレ日本株式会社(本社:神戸市、代表取締役 社長 兼 CEO:高岡 浩三、以下「ネスレ」)は、骨と健康について親子で楽しく学べるデジタル絵本「おわんくんの“骨”ってなあに？」を12月19日(金)よりネスレホームページ(<http://nestle.jp/wellness/bone/index.html>)にて公開します。

栄養・健康・ウェルネスをリードするネスレにとって、将来を担う子どもたちの健康は関心事のひとつです。ネスレは、子どもたちの健康的な生活には教育が最も効果的であると考えており、栄養教育プログラム「ネスレ ヘルシーキッズ グローバル プログラム」など、様々な取り組みを行っています。

今回、日本では、子どもたちのカルシウム摂取不足や運動不足が課題であることから、「骨とカルシウム」をテーマに選び、親子で楽しく学べるデジタル絵本「おわんくんの“骨”ってなあに？」を制作しました。



このデジタル絵本は、アニメーションやゲームも交えながら子どもたちが骨の健康について楽しく学べる絵本と、保護者の方やもっと詳しく知りたい子ども向けの解説部分の二つのパートで構成されています。なぜ骨が大切なのか、なぜ骨の健康には栄養と運動の両面が重要なのかを学び、日々の生活習慣の中で意識を高めていただくことを目指しています。

■デジタル絵本「おわんくんの“骨”ってなあに？」概要

① 子ども向け「絵本」

ストーリー: えいようランドで暮らす「おわんくん」が、食べ物や栄養、体のことを「ホネホネさん」、「はこつくん」、「こつがちゃん」たちと一緒に楽しく学んでいきます。

楽しく学べる機能:

- ・ ナレーション機能付きで小さな子どもでも読みやすい構成
- ・ タブレット上で、指でタッチして遊べるゲームやアニメーションを搭載

② 保護者向け「なぜなに!?骨とカルシウム」

- ・ 絵本と連動し、骨と健康に関する理解を深めていただけるお役立ち情報掲載
- ・ 図鑑好きのもっと詳しく知りたい子どもたちも楽しめる情報、ヒントが満載

デジタル絵本アクセス方法

- ・ <http://nestle.jp/wellness/bone/index.html> よりご覧ください(パソコンもタブレットも可能)。

【このリリースに関するメディアお問い合わせ先】 ネスレメディアリレーションズ室 担当: 細川、森本、嘉納
 TEL: 078-230-7050 FAX: 078-230-7108 E-mail: Media.Relations@jp.nestle.com

HP: <http://nestle.co.jp> Facebook: <http://www.facebook.com/NestleJapan>

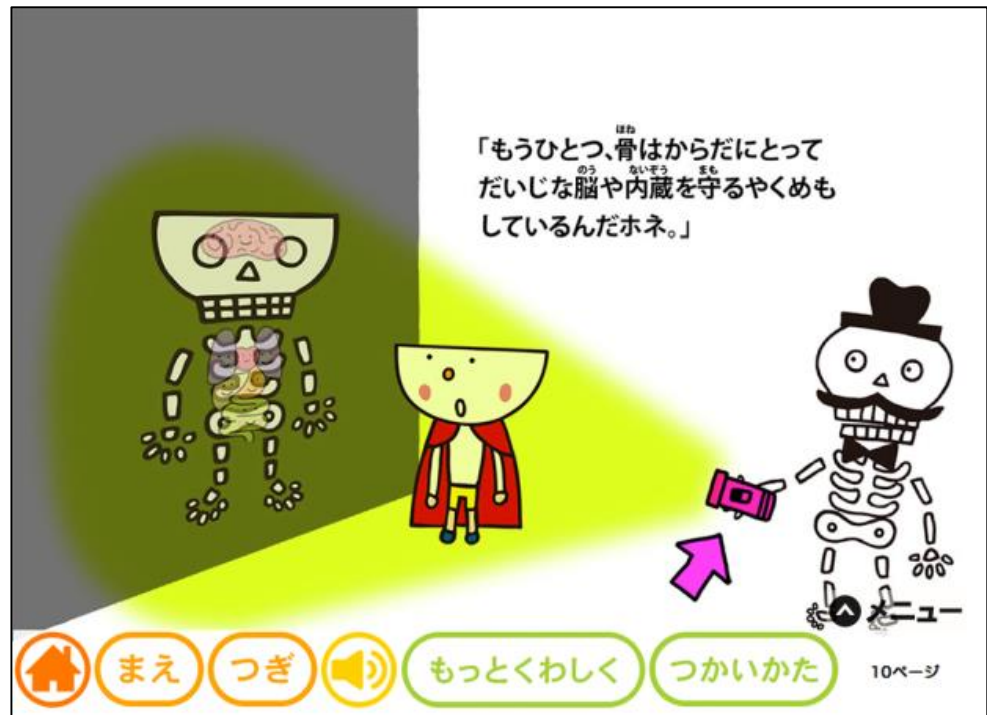
【掲載される場合の読者お問い合わせ先】

ネスレお客様相談室 TEL: 0120-00-5916 (受付時間: 24時間 年中無休)

【参考資料】

■デジタル絵本「おわんくんの“骨”ってなあに？」絵本／保護者向けページ例

絵本



保護者向けページ

1. 骨の役割

[このページのTOPへ](#)

骨は体重の約15～18%を占め、全身には約200個の骨があります。それらの骨は、私たちの(1)体を支える、(2)動けるようにする、(3)体の器官を保護する、などの役割を持っています。骨は、強い衝撃にも耐えられるように丈夫で、なおかつ軽快な動きをするために、できるだけ軽くする必要があります。「軽くて丈夫」を実現するために、骨の外側はみっちり詰まったかたい構造「緻密質(ちみつしつ)」、内側は空洞(くうどう)か、外力骨梁(こつりょう)という細い繊維(せんい)状の骨「海綿質(かいめんしつ)」という構造で力学的に補強(ほきょう)しています。

また、骨は構造的な機能の他に、(4)血液を作る場の提供、(5)カルシウムなどミネラルの貯蔵庫、という重要な役割を持っています。骨の中心部の空洞は骨髓腔(こつずいくう)といい、ここで血液の主要な成分である赤血球、白血球、血小板が作られます。また骨は、体中の細胞が必要とするカルシウムを貯蔵し、細胞に安定供給するのに役立っています。



図1: 骨の内部構造
構造の特徴をよく観察してください。

以上